

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

=市民が担う地域福祉=

今みんなで作ろう!! 行きたい・集まりたい
“地域の居場所”・・・1P

ゆめじろう新装開店お披露目会・・・1P
愛知県内NPO支援センター情報交換会・・・2P
NPOと行政の意見交換会
協働ロードマップ原案についての協議・・・2P
福祉のある優しい“わがまちづくり”
ハート&ハンズ事業・・・2P

男女共同参画推進フォーラム・・・3P
コミュニティリーダー研修会・・・3P
大人の学校 “学校祭”・・・3P
サボちたインフォメーション・・・4P

=市民が担う地域福祉=

今みんなで作ろう!!

行きたい・集まりたい “地域の居場所”

広域でつながった市民の想いと新しいボランティア活動、NPOのネットワークが半島の5市5町の行政に、また関係部署につながり、さらに市町の地域へとつながりが多角的な網の目になってきた。この重層的ネットワークが様々な役割と新しい価値と機能を創り出していくはずである。それを創り出していくのは地域の市民の力である。その市民も地域活動を継続しNPOの法人格を持って活動するところまで成熟してきた。そして新しい時代を創る大切な一役を担う存在にと、ようやく社会的にも理解され評価されるようになってきた。そこにはNPOの発足時から向き合ってきた個別の生活支援、インフォーマルサービスが原点にある。居場所、サロンの必要性もそこから見えていた課題となって色々な形で生まれはじめた。これまでのプロセスから公共そのものの見直し、変革のプロセスに重なり、お互いの立場、役割を理解しあう対話の場ができてきた。

21年度、取組んできた①「要介護状態にない高齢者の居場所作り」をテーマとした協働ロードマップの策定事業（県委託）と市民が築いて来た地域福祉、在宅ケアの現状と課題に関する調査 ②「福祉のある優しい我がまちづくり」(ハート&ハンズ)の2つの事業は、国民全体の共通課題として半島の実践現場につながった。市民の想いが一般化され新しい地域づくりの共通のテーマとしてつながったのである。①は高齢者の出かけられる場、またあらゆる世代につながる拠点の必要性としての“居場所”づくりである。福祉政策をはじめ制度はまだまだ変る。しかし、市民が現場から

ニーズと共に創り上げていく仕組みはゆるぎない仕組みに成るはずである。まさにNPOが今日まで実践し実証できるプロセスであり「新しい時代の新しいしくみ、新しい公共の確立」の一つの基盤となってきたともいえる。

新しい動きは誰もが当事者として学び実践してきた地域のニーズとして特別なものでもない。高齢者だけの問題でなく地域に暮らす全ての市民が育ちあう現場としてこの“居場所”や“制度外サービス”の確立について行政と市民が一体となって知恵を出しあっていきたい。(松下)

ゆめじろう新装開店お披露目会

4月から障害者福祉サービスの新体制移行に伴いゆめじろう本体施設が改装中です。

改装後は、①重度障害の方を中心とした生活介護 ②働く場としての就労継続B③児童デイサービスの外、宿泊スペース、地域交流も可能な多機能施設となります!!

当日は、名物ゆめじろうコロッケや生協ステーション、地域の方による野菜販売等も予定されている。

<日時>4月29日(木) 10:00~12:00

<場所>ゆめじろう事務局

※福祉事務所・NPO・市民活動団体関係者の方には16:30まで内覧会を行います。

<問合せ先>NPO法人ゆめじろう

TEL:0569-72-2963 (名鉄富貴駅北西150m)

愛知県内NPO支援センター情報交換会

2月15日(月)15時より県内NPO支援センターの情報交換会が行われた。当日はNPO支援センタースタッフ14人、中間支援団体スタッフ10人、行政7人、計31人が集まった。まず「支援センターの運営に関するアンケート」について報告がされ、県内センターの状況について全体で共有された。その後地域の団体との関わり方など、4つのテーマに分かれ、意見交換が行われた。地域団体と関わっていくためには、顔見知りの関係になり、そこから地域ニーズを掴んでいくことが大切であるとの話もされた。今後も県内支援センターの交流の機会を持ち、連携を深めていきたい。(後藤)



4つのテーマでグループワーク

第8期マネジメントセミナー最終回

NPOと行政の意見交換会

協働ロードマップ原案について協議

2月19日に行われたセミナーには、NPO15人、行政13人、社会福祉協議会3人、包括支援センター2人、地縁型組織1人の計34人が参加した。

知多地域にエリアを限定し、高齢者の居場所をテーマにした取り組みの現状と課題から、5年後の目指すべき姿を関係者で共有し、解決策と協働の姿を描いたものが協働ロードマップである。

解決策の重要なポイントとして①ボランティア教育・担い手育成と②拠点・資金支援の二つに意見交換のテーマを絞り、協議した。

①では、その地域特有の文化や特色を考える機会づくりと課題解決に結び付く活動へのいざないが重要でそのためにはNPOの現場を介する必要がある、循環する人材育成を実践すべき。

②では、めざす姿について多世代交流の場であるとの合意を得、行政の計画に「わがまちでは〇箇所つくる」と明文化して位置づけたいとの声があった。協働ロードマップはこの意見交換会を

反映し完成させ、3月25日にはあいち協働ルールブック推進フォーラムで報告されることになっている。(岡本)

福祉のある優しい“我がまちづくり” ハート&ハンズ事業

ハート&ハンズは、独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」の助成事業として、10月からスタートしている事業。「足りないサービスづくり」をテーマに、アンケートと知多半島5市5町の包括支援センターとNPOが意見交換を3回実施。1月18日に実施したNPO現場見学バスツアーでは、包括職員10名と知多市福祉課2名が参加し、ゆめじろう・ゆいの会・もやい・絆の4団体を見学した。感想では、「地域のニーズをいかにくみとるか、それを形にするために自分たちに何ができるのか、常に考えていかなければならない。」「社協として包括として、NPOとの協働が市民にとって今後、考えるきっかけづくりにつながった。」という声を得た。

また、地域独自のニーズに沿ったサービスに対応するためのネットワークが各市町で動き出した。包括やNPOから呼びかけた、福祉課・NPO担当課・民生委員・社協・ケアマネ・地域住民ら各関係者が集い、「我がまち」のあるべき姿について話し合いが進んでいる。

半田市は2月4日、先行事例として氷見市社協職員を講師に「地域の見守り」をテーマに講演、武豊町では「家族会」の立ち上げに向けて、介護者の集いを3月5日に予定している。

また、高齢者の権利擁護が求められていることが明らかになり、下記のように成年後見制度についての講座を開催することになった。(市野)

今から考えたい成年後見

<日時> 3月3日(水) 14:00～16:00

<場所> 知多市市民活動センター

<定員> 40名(先着順)

<受講料> 無料

<講師> NPO法人知多地域成年後見センター
事務局長 今井友乃

～ Ada-coda からのお知らせ ～

ワンテイ・シェフ随時募集しています。興味のある方、一度ご連絡ください。担当:市野

男女共同参画推進フォーラム



堀田力氏による講演の様子

1月17日(日)東海市しあわせ村で、「ワークライフバランス」をテーマとした男女共同参画推進フォーラムが開催され、約150名が参

加した。

フォーラムでは、堀田力氏(さわやか福祉財団理事長)による基調講演と地元企業・NPO・行政の方をパネリストに招きシンポジウムが行われた。講演では、仕事を頑張り稼ぐ事が大事とされた時代は終わり、これからの時代はみんなが支えあう事こそが大切。仕事ではなく、自分の生活に視点をおいて自分の生活スタイルを作っていくことが大切であり、そのためには事業者の理解が欠かせないと語られた。

シンポジウムでは、自身の育児休暇取得経験からこれから家庭を持つ社内の職員に“ありがとう”の気持ちを回していきたい、会社独自の取り組みを進め、働くパパとママを応援していきたい、「気づいた人が気づいた時に、出来る時出来るだけ」の精神でワークライフバランスが社会へ浸透されることが望まれると語られた。(江端)

コミュニティリーダー研修会

1月23日、30日の2日間にわたり、知多市との協働事業【まちづくりの仲間たち～コミュニティと市民活動団体～】を開催した。これは、コミュニティリーダー研修の一環で、市民の力を生かしたまちづくりを進めるため、コミュニティやNPO、ボランティア、市民活動団体等、さまざまな組織の相互理解を促進、連携をすすめるきっかけづくりの機会として行われた。

1日目、南粕谷コミュニティの元気会、おたすけ会の取り組みを紹介。アンケートによって地域の抱える問題を確認し、自分たちの将来や地域設計を共有し、活動につなげている事例を紹介。次に、サポートちた代表松下氏による、戦後の日本から現在にかけて、生活の変化に伴う時代背景からみえてくる課題、そしてコミュニティとNPOが連携することで解決するまちづくりの未来像の講演を聞いた。午後は、NPO法人もやいとNPO法人りんりを視察。お世話する側、される側も地域の中に居場所を見つ

け、人とのかかわりの中から生きがいを見つけることの幸せを学んだ。

2日目は、防災ボラネット守山代表、またNPO法人レスキューストックヤード理事の鷺見氏を迎え、まちづくりに必要なことを防災の視点から講演して頂き、地域の人が、地域のために助け合う「地域主権」について考える機会となった。また、ゲームを通じて、コミュニティリーダーとしての資質を問われる一面もあり、楽しい雰囲気の中盛んに意見交換が行われた。(市野)

知多市団塊世代キャリア活用事業

大人の学校“学校祭”

今年で3年目の“学校祭”が2月14日、知多市勤労文化会館やまもホールで行われた。

「調べる・学ぶ・体験する」をキーワードに、47名の学生が知多市内の現状を、生きがい・大人の居場所・子どもの居場所・知多市の歴史・コミュニティバスについて調べ、見えてきた課題や解決のための提案を発表した。なかでも、大人の居場所グループについては、理想の居場所づくりの実践として、3月8日に「くつろぎスペース縁ジョイ」という交流の場を設ける(下記参照) 予定で、参加者募集のPRも行った。

また、この学校では調べ学習に加えサークル活動にも取り組み、楽しみながら学習グループを越えた横のつながりも生まれた。この仲間は、卒業後もつながり活動が継続され、まさに地域の居場所になっていく。大人の学校は、サポートちたが今年度知多半島5市5町を対象に取り組んできた、「元気な高齢者のための交流



トーク&ブレイクタイムの様子

の場づくり」についての協議や、福祉のある優しいまちづくり事業から見えてきた「サロンづくり」にリンクしており、その担い手となる人材育成の場であることを実感した。(五十嵐)

いよいよオープン!!

くつろぎスペース縁ジョイ

<日時>3月8日(月)13:30~15:30 <会費>100円
<場所>雅休邸 (知多市岡田開戸24)
<問い合わせ>090-3953-8191 (代表:勝崎芳雄)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

ホームヘルパー2級養成講座

<日時> 5月15日～9月4日 9:30～16:30
(講義13日間・演習5日間・実習4～5日間)
<場所> NPO法人りんりん・知多市民活動センター
<定員> 40名(先着順)
<受講料> 65,000円(テキスト代・実習費込)
<問い合わせ先> NPO法人地域福祉サポートちた
担当:竹内

ソーシャルファイナンス

資金の「借り手」編

NPOの安定した財源確保のためには、市民や金融機関などからの信頼を得て、支援を獲得していくことが必要です。体験型の講座を通して、支援の輪を広げるためのスキルを磨きましょう!!

<日時> 3月14日(日)
第1部10:00～13:00 第2部14:00～17:00
<場所> 知多市民活動センター2階 会議室
<定員> 20名(先着順)
<対象> 「融資・事業収入」及び「会費・寄付収入」による資金調達を実施・検討しているNPO、コミュニティビジネス事業者
<問い合わせ先>
コミュニティユースバンク momo 運営事務局
TEL:052-331-5695 FAX:052-339-5651
E-mail:info@momobank.net 担当:木村・田口

週末に学ぶ「起業の学校」6期生募集!!

「起業の学校」で“仲間”とともに学びながら起業の確かなノウハウを身につけ、あなたらしい「起業」を実現しませんか??

オープンキャンパスや無料公開講座も開催します。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
<問合せ先> NPO法人起業支援ネット
TEL:052-486-4101 FAX:052-486-4103

障害者パソコン講座初級コース

「働きたい!!でもパソコン使えないし…」と
思っている障がいをお持ちのあなた!!一緒に
パソコンスキルを習得しませんか??

<日時> 4月8日～5月28日のうち27日間
10:00～16:00
<場所> NPO法人 toピア 会議室
<対象> 障害者、またはそれに準ずる方でハロー
ワークへの求職登録が必要
<受講料> 無料
<問い合わせ先> NPO法人 toピア
TEL:0569-23-1152 担当:小久保

～自立支援法から総合福祉法へ～

くるくる勉強会 | N刈谷

障害者自立支援法が制定され間もなく4年。今後、「障がい者総合福祉法」に変わろうとしています。皆さんで、一緒に新しい法律やその課題について共有しませんか??

<日時> 3月2日(火) 10:30～12:00
<場所> 刈谷市民ボランティア活動支援センター
<資料代> 100円
<問い合わせ先> NPO法人くるくる
TEL:0566-28-7496 FAX:0566-28-7496

第8回福祉たすけあいフォーラム

認知症高齢者への現場の介護力

一緒に、認知症高齢者の対応の向上について考えてみませんか。

<日時> 3月5日(金) 10:00～16:30
<場所> 全労済愛知県本部(アビタン)
<定員> 110名
<問い合わせ先> あいち福祉ネット事務局
TEL:052-979-6446 FAX:052-979-6448



NPO現場見学バスツアー

3月16日(火) 9:30～16:30 定員8人
4月22日(木) 9:30～16:30 定員26人
参加費 5,000円(昼食代別途)

オーダーメイドバスツアーも受付中!!



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743

Email spchita@ams.odn.ne.jp

URL <http://www.cfsc.npo-jp.net>